

南丹市教育委員会会議録

平成 28 年第 9 回定例会

(平成 28 年 9 月 21 日)

平成28年南丹市教育委員会第9回定例会会議録

1. 日 時 平成28年9月21日(水)
開会 午後3時30分 閉会 午後5時15分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 武田 義史
5. 出席委員 委員長 武田 義史
委員長職務代理 高屋 毅史
委 員 吉田 尋子
委 員 城戸 貴子
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 岸本 薫
教育参事 後藤 昌則
教育総務課長 中川 勇夫
学校教育課長 山内 紀子
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 な し

午後3時30分開会

日程1 開会

委員長が平成28年南丹市教育委員会第9回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

委員長から会議録作成者に中川教育総務課長を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 主な行事報告等 (教育長)

- 8月17日、3名の点検評価アドバイザーに、昨年度の市教育委員会事務局の事務事業について評価をいただいた。
- 8月20日、第6回南丹市子どもの主張大会を日吉町生涯学習センターで開催し、13名の児童・生徒の発表を約120名の参加者にお聞きいただいた。本年度の特徴として、外国とかかわりのある子どもたちの発表があり、よりグローバルな視点に立つ人権をテーマとした主張大会となった。
- 8月23日、本市の教員による小・中学校教育課程の研究大会を開催した。現在、小・中学校に求められている教育の内容や方法について、今後の教育の在り方を含めて研究・協議するという趣旨で開催している。小学校約100名、中学校約80名の教員が参加し、非常に熱心な協議を行った。
- 8月25日、9月議会本会議が開会された。9月5日、6日に一般質問があり、教育委員会として答弁を行った。
- 8月26日、日吉町生涯学習センターで教職員の夏季研修大会を開催し、全教職員約230名のうち220名を超える教職員が参加をした。3名の小中学校教員による実践発表と、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演されたこともある教育実践家・菊池省三氏に『言葉の力で子どもたちを育てる』をテーマに講演していただいた。約160名の教員がアンケートで「とても参考になった」「2学期がくるのが待ち遠しい」と答えるなど、高い評価を得た研修大会になった。
- 8月29日に各小中学校の始業式が、9月1日に幼稚園の始業式があり、それぞれ新しい学期をスタートした。
- 9月1日、市いじめ防止等対策委員会を開催した。いじめの状況報告と、園部中学校の生徒会が中心となって主体的に行っているいじめ撲滅に向けた活動の取組について報告をした。委員の方からは積極的に熱心な取組であると高い評価をいただいた。
- 9月9日、10日に、市内4中学校で体育祭が行われた。雨のため園部中学校、八木中学校は1日順延となったが、さわやかな体育祭になった。
- 9月13日、定例校園長会議を開催した。夏季休業期間中、学校の実態に合わせて各学校園が熱心に取組をすすめてきた研究活動や研修活動の成果を、2学期からの教育実践につなげるよう実践の深化を求めた。
- 9月17日、市内5小学校の運動会が行われた。園部の2小学校については9月24日に開催される。
- 9月17日、18日に、日吉町の文化祭（展示の部）がスプリングスひよし体育館にて行われ、多くの方に生涯学習の成果をご覧いただいた。

(2) 平成28年9月議会定例会における一般質問について

(事務局)

資料に基づき報告

[質 疑]

(城戸委員)

家庭教育支援チームとはどのようなものか。

(事務局)

さまざまな課題を抱えた家庭に対して、いろいろな分野（教育関係・福祉関係など）の方で支援チームをつくり、助言や講座を開催し、家庭教育の向上を図っている文部科学省の事業である。

本市においては、この事業は行っていないが、地域社会総がかりの取組として文部科学省のコミュニティスクール導入等促進事業の中で行っている。

(城戸委員)

夜間中学とはどのようなものか。

(事務局)

経済的な理由等で義務教育を修了されなかった方等を対象とし、学びたいという願いに応え教育を受ける機会を保障するために主に夜間に開設されている中学校のことである。

本市においては、経済的な理由等で義務教育を修了されなかった方はおられないことから、直ちに夜間中学を設置する必要性はないと認識していると、市長も答弁されている。

(高屋委員)

不登校児童14人の内訳は。

(事務局)

2名が小学生、12名が中学生である。

(高屋委員)

多年度にわたって不登校状態の子どもの実態はどうか。

(事務局)

文科省調査は年間30日以上欠席（病気等を除く）であれば不登校ということとなる。つまり1月当たり3日以上休めば不登校となることから、こうした数字となっている。多くの児童生徒は1月当たり3～10日程度である。ごく一部ほとんど欠席状態の子もあるが、全欠席はない状況である。

(3) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告

日程5 議 事

報告第 7号 南丹市立幼稚園保育料条例施行規則の一部を改正する規則について

(事務局) 市立幼稚園保育料条例施行規則の一部を改正する規則について、資料により説明。

(高屋委員)
直系卑属とは。

(事務局)
子ども・孫など自分より後の世代の直系親族のことである。

(高屋委員)
保育料が安くなるということか。

(事務局)
国において、子育て支援の観点から多子家庭の保育料を軽減していくこととなり、第三子の数え方についての年齢制限がなくなったため、より子育て支援を図り子育て世帯の負担軽減を図っていくことである。

[採 決]
報告第7号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第34号 平成28年度(平成27年度対象)南丹市教育委員会点検・評価報告書について

(事務局)
平成28年度(平成27年度対象)南丹市教育委員会点検・評価報告書について、資料により説明。

(委員長)
昨年度(平成26年度対象)の点検・評価では、評価者が内部評価よりも1段階上げて評価したものはあったのか。

(事務局)
1段階良い評価をしていただいたものは4事業である。

[採 決]
議案第34号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認

する。

日程6 その他

(事務局)

- 資料により、後期学校等訪問日程調整について説明
- 資料により、教育委員研修関連(10月～11月)について説明、依頼
- 資料により、第1回いじめ防止等対策委員会報告について説明
- 全国学力・学習状況調査結果の文部科学省対応について説明
- 資料により、市保幼小中連携教育研究事業各中学校ブロック夏季研修・研究会について
- 主な行事予定等説明

[次回定例会について]

(委員長)

次回の日程について、10月26日(水)午後3時30分開催としたいがどうか。

(委員)

*委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後5時15分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会委員長

南丹市教育委員会委員長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会教育長

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長